

～ 海賊対処の第9次派遣部隊が無事任務を終え帰港する ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため、第9次派遣海賊対処行動水上部隊が6月20日に日本を発って以来、12月3日、約5ヶ月ぶりに海上自衛隊呉基地へ帰港した。

第9次隊は、第4護衛隊司令（大判英之一等海佐）の指揮の下、護衛艦「さみだれ」（内藤裕之艦長）および同「うみぎり」（佐藤正博艦長）、乗員約400名（海上保安官8名を含む）により編成され、アデン湾にて36回に及ぶ護衛活動を実施した。

今般の帰国行事では、派遣隊員に対し、防衛大臣（呉地方総監による代読）による訓示などが述べられた。

当協会からは、日之出郵船 酒迎専務取締役および半田常務理事他が出席し、派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなどして、護衛艦乗員の方々のご苦勞に対してあらためて感謝の意を表した。

（海務部 山内）

（添付写真）



入港を横断幕とともに出迎える当協会関係者



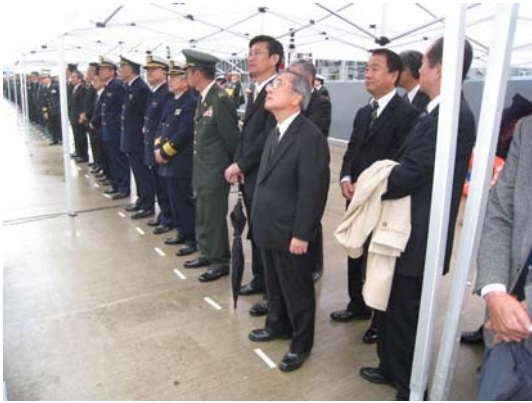
入港する護衛艦「さみだれ」



帰国報告をする大判英之隊司令



訓示を行なう泉三省呉地方総監



松本前防衛大臣政務官ほかと参列する  
当協会関係者



当協会を代表して大判隊司令他隊員に花束を  
贈呈する酒迎日之出郵船専務取締役